

# 平成 18 年 2 月期 第三級海上特殊無線技士 試験問題

## 無線工学

1. 電気設備の規格のうち、ワット〔W〕で表示されるのは電圧である。
2. 搬送波の周波数を音声信号で変化させるのは、周波数変調方式である。
3. 超短波を用いる通信は、主として、電離層波が利用される。
4. 無線電話装置の「音量」つまみは、送信中の電波を弱めるときに使用する。
5. DSB 方式の無線電話装置は、プレストーク・ボタンを押しても送話を始めなければ電波は放射されない。
6. 送信空中線は、電波を空中に放射する働きをする。
7. FM 送受信装置のスケルチ調整つまみは、受信中の電波が止まったときスピーカから出る大きな雑音を消すために使用する。
8. 蓄電池は、充電することができない。
9. 電離層の状態は、昼間と夜間又は季節等によって変化する。
10. 船舶用レーダーは、距離レンジを切り替えたとき、距離目盛りの大きいレンジほど測定誤差が大きい。